

## 企業経営行動研究室

—東海地域のグローバル企業の活動と町工場との事業戦略の踏査研究—

### 研究目的

必要なものを必要な時に必要な量だけ、公正な値段で、  
ムリ・ムダ・ムラなく適正な「原価」でつくる、企業経営行動の構築のための研究

### 研究方法

工場見学・企業訪問を起点に、製造現場から経営行動を考え直す。  
経営分析手法により経営行動の意思決定とその評価を試みる。

### 研究プロジェクト～社会人修士論文および卒業論文の「概要」～

拠点立地戦略： 「精密機器 X 社の国際工程立地選択要因の分析」

「部品製造 Y 社の機能部品設計業務の立地検討」

加工技術資源展開戦略： 「精密機器製造 Z 社の加工技術展開型の新製品開発」

「組立生産管理方式の設備加工分野への展開方法の研究」

工作機業界戦略： 「工作機メーカー A の生産システム統合化戦略の方法の考察」

「工作機メーカー B の経営戦略の課題と M&A の活用」

「工作機メーカー C の生産設備改善戦略の研究」

部品加工製造業戦略： 「自動車高機能部品製造基盤の検討」

「鋼材部品メーカーの調達・製造戦略」

「EV 時代の情報・メカニズム連携による車載製品開発の展望」

「自動車部品メーカー経営指標にみる外部経営環境変化と内部経営資源の比較研究」

「セラミックス産業集積地企業の部品事業戦略の展望」

### 本ゼミ生の要件

その 1. 工場現場にのぞんで、改めて経営工学をきちんと復習する学生。

その 2. 大野耐一著『トヨタ生産方式』を座右の書とする学生。

その 3. 工場・製造現場でメモを取って、キチンと見聴きできる学生。

その 4. よく聞き、よく読み、よく考える、謙虚な学生。

その 5. 「ハウレンソウ=報告・連絡・相談」がキチンとできる学生。

その 6. 時間に余裕をもって早めに行動を起こせる学生。